

令和2年度 (2020年)



株式会社 日 栄 安全衛生計画



日栄企業理念

「企業は人なり」「安全第一」を基本に世の中に素晴らしい物を残し地域社会に貢献する。

## ■ 安全活動方針

創立50周年（令和2年6月）を機に初心に戻り次世代に向け真摯な行動で安全管理を遂行する。企業理念である「安全は全てに優先する」を基に、株式会社日栄グループから労働災害を発生させないよう「仲間の作業が安全であるか？」「仲間の作業が適切であるか？」を全ての作業員がお互いの敬意安全で働きやすい職場環境を確保する。

### 1 魅力ある職場づくり（働き方改革に向けた取り組み）

- (1) 労働環境や法令に順守した労働時間を見直す事を実施し、社員の健康増進に努め魅力ある職場とすることで生産性の向上を図り業績向上を目指す。
- (2) 業務に関わる人たちのワークライフバランス向上のため、職場環境改善を目指し高齢者の就業支援、若年・女性が安心して働ける職場環境を整える。

### 2 安全衛生管理の意識向上

- (1) 管理者による積極的な教育・訓練を継続し、社員・協力会社が一丸となり安全衛生意識に対する感受性向上を図る。
- (2) 災害を他人ごとから自分ごとと思ふ身近にある危険として実感出来るよう類似災害防止教育を計画的に繰り返し実施し、一人ひとりが自己安全目標を立て、自ら考える機会を設ける。

### 3 健康増進活動の活性化

健康診断での所見項目について100%の再受診を実施し健康者企業を目指す。

## ■ 安全目標

**安全・品質不適合ゼロの達成！**

**交通違反ゼロ・災害ゼロの達成！**

## ■ 安全スローガン

**「ご安全に！」仲間を思う合言葉**

**組織で取り組むゼロ災、不適合ゼロの達成を目指そう！**

## ■ 部門別実施重点事項

### 1 総務部

- (1) 安全運転を徹底し年間無事故を達成する。
- (2) 事務所・倉庫の整理はもとより、駐車場も規律ある利用に努める。
- (3) 朝礼や安全大会を通じ、社員の安全意識を高め徹底させる。
- (4) コロナウイルス感染防止マニュアル内容の継続的实施。（6月1日～7月31日）

### 2 大分プラント

- (1) 管理者、作業員間の対話を重視した風通しの良い、職場作り。
- (2) 毎日変わりゆく作業環境の中で場所、作業、人に適切な安全指示と一人ひとりの確かな危険予知を実施し災害撲滅に努める。
- (3) 健康管理（コロナウイルス・インフルエンザ・熱中症対策）作業前中後の体調管理。

### 3 環境対策室

- (1) 適正な作業手順を確立・標準化し、施工品質の向上を図る。
- (2) 法改正に伴い、石綿除去のリーディングカンパニーとして適正な施工・正確な情報発信を通じて、その地位を確固たるものとする。
- (3) うがい・手洗い・体温計測を継続し、インフルエンザ対策を行う。  
夏季作業時には十分な水分・塩分の補給を行うなどの熱中症の防止対策を徹底する。

### 4 佐賀出張所

- (1) 現場の作業環境にあった保護具の選定という事に重点を置き、劣化した保護具交換フィルターや吸収缶の定期的な点検交換を行い、粉塵・ガス等の健康被害防止に努める。
- (2) 物の落下による災害防止対策として、上下作業の禁止、材料手渡し時の声掛け運動の徹底と作業区域の明確化を徹底する。
- (3) 季節ごとにリスクの抽出（熱中症・台風・インフルエンザ・JOKなど）し情報の先取りし関係者への情報共有と早目早目の対策を講じる。

### 5 道路事業部

- (1) 具体的な「作業前KY」活動を全員にて実施し、手順・順守事項の徹底。
- (2) 道路工事施工時、第三者との接触等の事故を未然に防止する。
- (3) 7月末まではコロナウイルス、夏季は熱中症、冬季はインフルエンザ対策を重点に自己体調管理の徹底。

### 6 部門共通：職場環境の改善

- (1) 職場を綺麗に（5S活動）保つことにより、職場の安全性向上、業務の効率化向上在庫品管理の向上、品質不適合の未然防止を目指す。
- (2) 管理職の意識改革、非効率な業務を見直し、多様で柔軟な働き方を目指す。

### 7 部門共通：安全パトロール・安全訓練・安全大会の実施

- (1) 各事業部長は毎月1回の安全パトロール・安全訓練を計画し実施報告する。
- (2) 各事業部長による他事業部のパトロールを実施し、環境の違いを分析・評価し改善する。
- (3) 総務部は毎年1回の安全大会を企画運営し安全の啓蒙活動を行う。